

開講期	2026年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	3403 近代日本の社会と教育			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	月曜4限				
教室	J102教室				
代表教員	大西 公恵				
担当教員	大西 公恵				
テーマと到達目標	近代日本の学校教育の歴史的展開を社会との関係で論ずる。社会変動とそれに伴う人々の生活や家族の変容は、教育内容やその伝達方法、学校への人々の関わり方に大きな影響を与えてきた。本講義では学校と社会との関係について理解を深めるとともに、そうした歴史的展開を通して形作られてきた近代学校の特徴について考える。				
概要	明治期に日本に近代学校が成立する過程について、次いで大正・昭和期戦前・戦中期の政治や社会、経済の変動と学校の変容の過程を歴史的にたどる。また、校舎や教室、教科書、学校行事、試験などの近代学校の特徴についてテーマ別に講義を行う。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	〈教育〉とは何か				対面授業
第2回	近代以前の人間形成				対面授業
第3回	近代学校制度の成立				対面授業
第4回	近代学校の特徴(1)校舎と教室				対面授業
第5回	近代学校の特徴(2)「学級」の歴史				対面授業
第6回	近代学校の特徴(3)教科書の歴史				対面授業
第7回	近代学校の特徴(4)学校行事				対面授業
第8回	近代学校の特徴(5)試験の社会史				対面授業
第9回	天皇制教育体制の確立				対面授業
第10回	家族の変容と子どもへのまなざしの変化				対面授業
第11回	大正新教育				対面授業
第12回	生活綴方運動				対面授業
第13回	戦時体制下の社会と子ども				対面授業
第14回	敗戦直後の教育				対面授業
第15回	戦後新教育				対面授業
成績評価の基準	<ul style="list-style-type: none"> 各授業で作成するコメントペーパーやミニレポート(30%)、中間レポート課題(35%)、学期末レポート課題(35%)によって総合的に評価する。 欠席が3分の1を超えた場合、中間レポート課題未提出、学期末レポート課題未提出の場合は不合格とする。 不正行為が発覚した場合、不合格とする。テストでのカンニングについては、全学的なルールに則って対応する。 				
履修にあたっての留意事項	一部の授業がオンライン授業(オンデマンド方式)となる予定である(授業回未定、1回または2回程度)。具体的な日程・授業方法・自宅学習については、初回授業時に説明する。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	教科書は特に指定しない。授業中にプリントを配布する。	教科書(ISBN)	
参考文献	片桐芳雄・木村元編著『教育から見る日本の社会と歴史』八千代出版、2008、篠田弘ほか編『新版 子どもの教育の歴史』名古屋大学出版会、2008ほか	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--